萩市における
令和5年度 総合支援学校児童・生徒や福祉サービス利用中の児とその家族の生活状況・ニーズに関する調査結果について

令和6年3月19日

萩市自立支援協議会こども支援部会

調査の概要

■　調査の目的

本市では平成30年度より、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第89条の3」の規定に基づき、障がい者等への支援の体制の整備を図るため、萩市自立支援協議会の専門部会である**こども支援部会**において、萩市における福祉サービスに係るニーズや現状の課題を明らかにするために、調査を実施しました。

■　調査対象者

萩圏域で総合支援学校通学中または障がい福祉サービスを利用中の18歳以下の方。

■　調査期間

令和5年5月25日（木）～令和5年7月14日（金）まで。

■　調査方法

山口県立萩総合支援学校および利用中の福祉サービス事業所を通じて対象者に調査票を配布。

回収した調査票は萩市自立支援協議会こども支援部会にて集計。

■　調査結果の取り扱い

調査結果については、個人が特定されない形で集計を行い、その概要を公表するとともに、今後の萩市障がい児・者への支援体制の整備を図るため、萩市自立支援協議会こども支援部会をはじめ、関係機関との検討・協議に活用していきます。

調査結果

調査票回収率

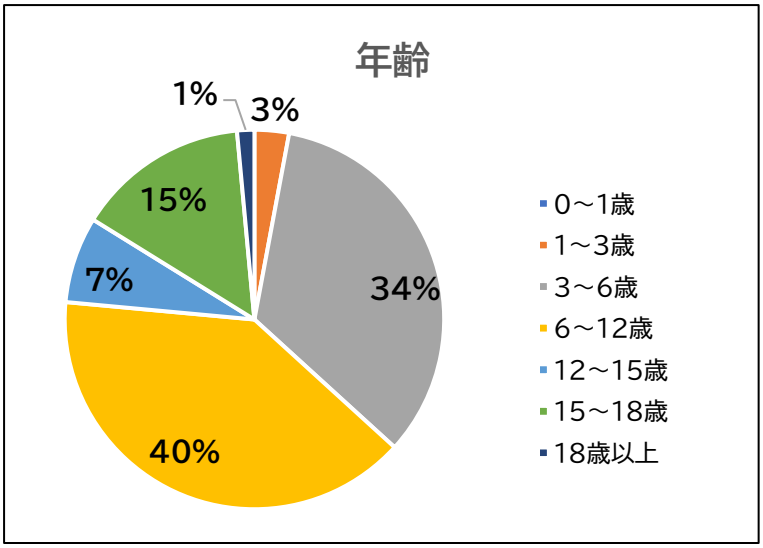
回収率　44.0%(小数点第2位四捨五入)
回答率　42.8%（小数点第2位四捨五入）

本人について

1.年齢

「6～12歳」が最も多く、次いで「3～6歳」が多くなっています。小学生以下が全体の7割以上を占めています。

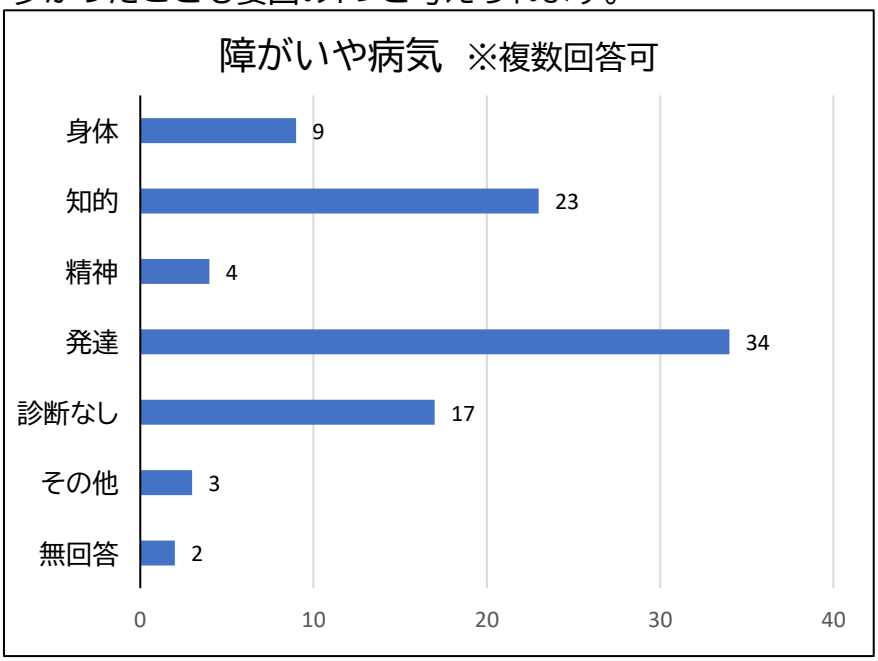
年齢(歳)	人数(人)
0～1歳	0
1～3歳	2
3～6歳	23
6～12歳	27
12～15歳	5
15～18歳	10
18歳以上	1
合計	68



2.障がいや病気について(複数回答可)

「発達障がい」の方が最も多く、次いで「知的障がい」「診断はついていない（～傾向があると言われた含む）」の順に多くなっています。「診断がついていない」の方が多かったのは未就学児・小学生の回答者が多かったことも要因の1つと考えられます。

分類	人数(人) ※複数回答可
身体障がい	9
知的障がい	23
精神障がい	4
発達障がい	34
診断なし （～傾向がある含む）	17
その他	3
無回答	2

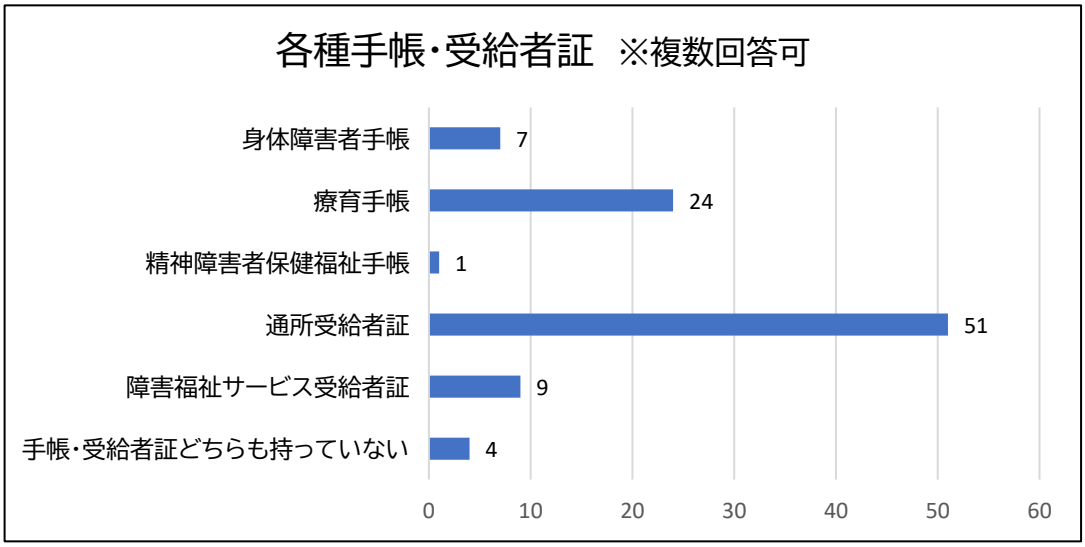


3.各種手帳・通所受給者証・障害福祉サービス受給者証について

障がい福祉サービスに関しては「通所受給者証」を持っている方が最も多く、各種手帳に関しては「療育手帳」を持っている方が多くなっています。

また成長に伴う変化をみていく必要があることから、「どちらも持っていない」方も4人いました。

分類	人数(人)
身体障害者手帳	7
療育手帳	24
精神障害者保健福祉手帳	1
通所受給者証	51
障害福祉サービス受給者証	9
手帳・受給者証どちらも持っていない	4

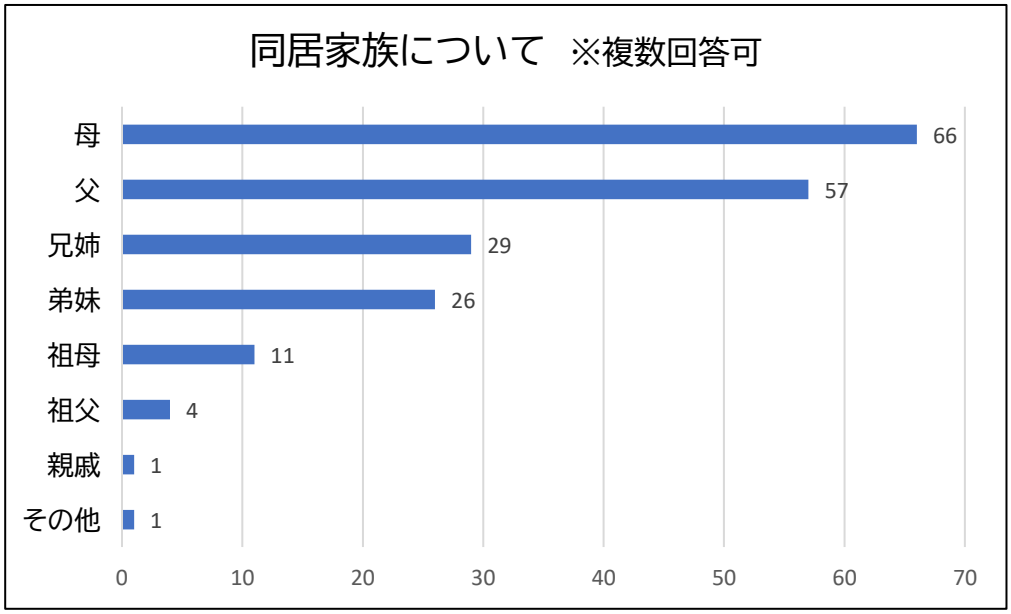


4.同居のご家族について(複数回答可)

「母」が最も多く、次いで「父」「兄弟姉妹」となっています。

記述のご意見では、手助けが欲しい時に、お願いできる親類等が近くにおらず、父・母が子育てに困ることもあるという意見がありました。

	人数(人)
母	66
父	57
兄姉	29
弟妹	26
祖母	11
祖父	4
親戚	1
その他	1



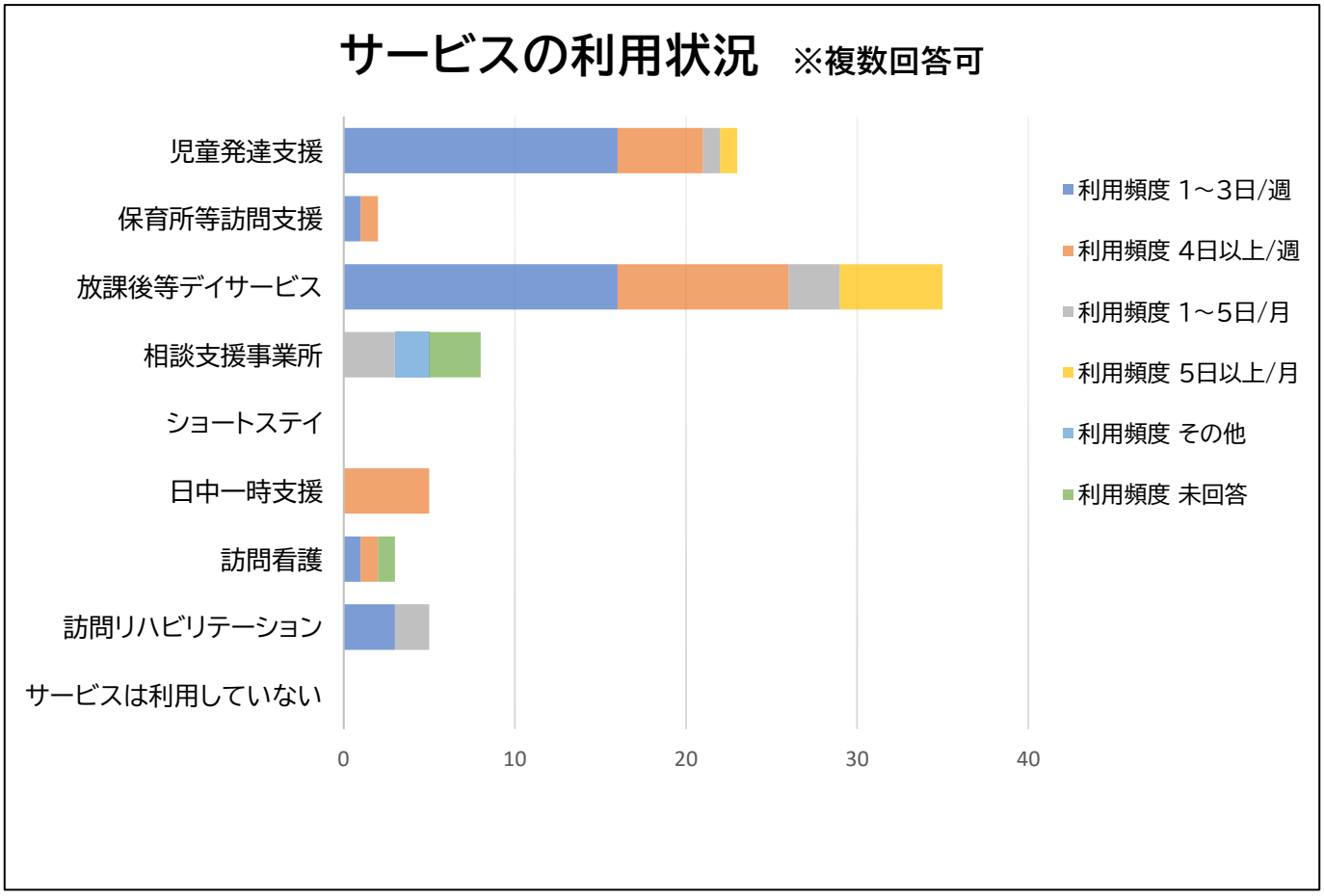
サービス利用状況について

1.現在利用しているサービスについて（複数回答可）

「放課後等デイサービス」の利用が最も多く、次いで「児童発達支援センター」の利用が多くなっています。

記述のご意見・ご要望にあがっていた「日中一時支援」利用は5人、「ショートステイ」利用は0人でした。

		児童発達支援	保育所等訪問支援	放課後等デイサービス	相談支援事業所	ショートステイ	日中一時支援	訪問看護	訪問リハビリテーション	サービスは利用していない
利用人数(人)		23	2	36	8	0	5	3	5	3
利用頻度	1~3日/週	16	1	16	0		0	1	3	0
	4日以上/週	5	1	10	0		5	1	0	0
	1~5日/月	1	0	3	3		0	0	2	0
	5日以上/月	1	0	6	0		0	0	0	0
	その他	0	0	0	2		0	0	0	0
	未回答	0	0	0	3		0	1	0	0



ご意見・ご要望について（抜粋）

1. 日常生活のなかでどのような困りごとがありますか
2. 今後どのような支援があると良いと思いますか
3. 今後心配に思っていることは何ですか
5. お困りごとやご要望

預け先について

・児童クラブはせまい所もあるので、休業中の時は広い室内での預かりを検討してほしい。
・せめて児童クラブは確実な預け先としてあって欲しい。郡部にも目を向けてほしい。
・軽い発達障がいの人たちも利用できる放課後等デイサービス（重度の身体不自由者専門）の立ち上げ。
・放課後預かってもらえる所がなく、働けない。兄弟行事の時、預け先がない。
・利用できるサービスが遠方のため、放課後等デイサービスの利用が近場の人と比べて少なすぎる。
・中学校以降は児童クラブもなくなるので、預け先がない。
・保護者が病気になった時、どこに預けたらよいか。短時間の預け先、早朝、夜間などに出かけられない。
・働かないとやっていけない親がほとんどで、サービスの事業所をもっと増やしてほしい。
・長期休暇はとくに人数が増えるので、利用日数が減ってしまいとても困る対策してほしい。
・事前に申し込まなくても、前日や当日に依頼して利用できる預け先。

経済・就労について

・長期休業中は全く働くことができなくなる。働かないと生きていけない。
・土日祝日も預け先がなく、病院やリハビリで平日も休みが必要となるため、なかなか働けない。
・放デイも17：00～17：30の迎えで、働く者としてはフルタイムを考えにくい。

医療について

・病院の充実（医療やリハビリできる人も充実するとありがたい）。
・医療的ケア児でも預かってもらえるよう、看護師さんがおられる施設を増やしてほしい。
・リハビリ病院が近くにないので、市外まで行っている。

福祉サービスについて

・医ケアの子達が、元気に楽しく過ごせる、そしてその家族が仕事ができる、今の日常とかわらず過ごせる環境の萩市を作ってほしい。
・県外でもこどものADHDの合宿があれば行かせてあげたいが、萩であるととても嬉しい。
・今の支援でも十分に感じている。
・障がい児・者向けの習い事、スポーツなどを教えてくれるところがあるといい。
・感情のコントロールができるようにSST（ソーシャルスキルトレーニング）などが受けれたらいいと思う。
・運動訓練先がない。言葉での療育がわからない。
・こどもの発達を促すような機会があると良いと思う（イベントや教室など）。
・親との懇談はあるが、施設とこども1対1での話はないので、あってもいいのでは？と思った（学校ではあるが、いろんな話が打ち明けにくいと思う）。

送迎・移動について

・送迎距離に迷うことなく預けれるように送迎を希望する。同じ萩市に住んでいるのにサービスの質が違い過ぎる。他人事と考えず、当事者として要望を話あってほしい。
・長期休業中等こどもの送迎に片道50分かかるので、バス等での送迎をしてほしい。

教育・保育について

・公立・私立保育園、幼稚園への障がい児受け入れの緩和。
・公立保育園と併用利用していた際、（健常児）のお迎えは16時頃でOKなのに、本人のお迎えは先にと言われ、往復40分程度かかる保育園まで2度お迎えに行っていた。
・児童発達支援センターが休園の時、保育園に1日預けることをしぶられ、「お母さん仕事休めませんか」と言われ、結局仕事を休んだ。
・スクールバスの時間と就業開始時間が合わないため、バスの時間までファミリーサポートを利用している。毎日となると出費がかさむ。
・中学・高校と進んでいく時の支援制度。通級指導教室の利用や定期テスト・受験時の別室対応、面接など。
・通常級での授業を受けたいが、通常級のクラスが騒がしいため戻れない。
・保育園や幼稚園で発達などの話を聞く機会があったり、相談しやすい環境を作るべきだと感じている。
・1クラスの人数をせめて30人以下にしてもらえると、無理せず授業に参加しやすいと思う。
・幼稚園の先生への補助の充実。
・支援学校の登校が8：30のため、勤務先が限られる。

進路について

・重度心身障がい児の保護者も、受け入れ先がないと困っている。
・医ケアの課題は何年かかかると思い、早いかもと思いながら、相談してきた。卒業後の進路をどうしたらいいか、行き先が決まらない状況である。
・中学校までは義務教育だが、高校に進学が出来るのか？心配している。
・本人の行きたい大学や仕事に就かせてあげたいが、1人暮らしができるか不安がある（生活リズム面、お金の使い方、お金面でいい話にだまされやすいのではないか）。
・自閉症傾向があるため、進学や就職を心配に思っている。なるべく選択肢のある生き方、自立した生活を送っていってほしいと思っている。
・強度行動障がいのあるこどもと共に暮らしている家族で、いつ事件や事故が起きるか不安を感じている。誰も助けてくれない、こどもがやったことを非難され、どれだけ苦しいだろうと胸が痛む。いつ自分の身に起きるかもしれないこと。どうにかならないか。どうしたらよいか、どこに訴えたらよいか教えてほしい。

災害時・緊急時について

・災害時、避難先での環境の変化等。
・休日や急用の時、預けられる施設があると良い。
・災害・緊急時など男手がないので、取り残されるのではと不安になる。
・私（保護者）に何かあった時、こども達の対応できる人がいないこと。

地域資源・障がい理解・啓発について

・こどもと利用できる（他の子に気がねなく）施設の充実。
・トイレに身障者のおむつ替えのできるベッドの設置。
・差別的な言葉をこどもの前で言われた。仕方がないと諦めるしかないのか。周囲の理解を得るための普及啓発。
・普通・当たり前を求めないで、みんなにある無意識の無自覚の偏見を改めて感じてほしい。
・地域のみんなで一緒に育てていこうっていう環境・雰囲気の中で生活できたらどれほど気持ちがふっと楽になって親子で穏やかに過ごせる日々がもっともっと増えてすごせることか・・・。
・「緘黙」を知らず、何度言っても「寡黙」とメモしていた。その辺りの理解が深まると嬉しい。
・孤立しないような地域との関りや交流があると良いと思う。
・理解を得てもらうためにも、講演会など周囲の人により多く知ってもらう必要があると考えている。
・ファミリーサポートの利用も2人体制での利用になると言われ、金額が高く助成をしてほしい。（金額が倍かかる）
・「障がい」という言葉はどうしても昔から好きではない。もうすでにいろいろな所で言われているように分けへだてないで（インクルーシブ教育など）。「人」として一緒なのだから分けない。区別しない。で社会で歩んでいけるようにもうそろそろそれが当たり前、常となっていいのではないかと思う。そうしていくには、私たち親も何かできないかと動いていくことだと思う。そのため、どうしたら生活しやすい、孤立しないで、自分だけだと思わないで…吸い上げて前に進んでいけるかいろいろな所に力を貸していただきながら、何かもう1歩、助けになる支援ができたらガラッと今の状態が変わっていくように思ってならない。どうぞよろしくお願いします。

その他について

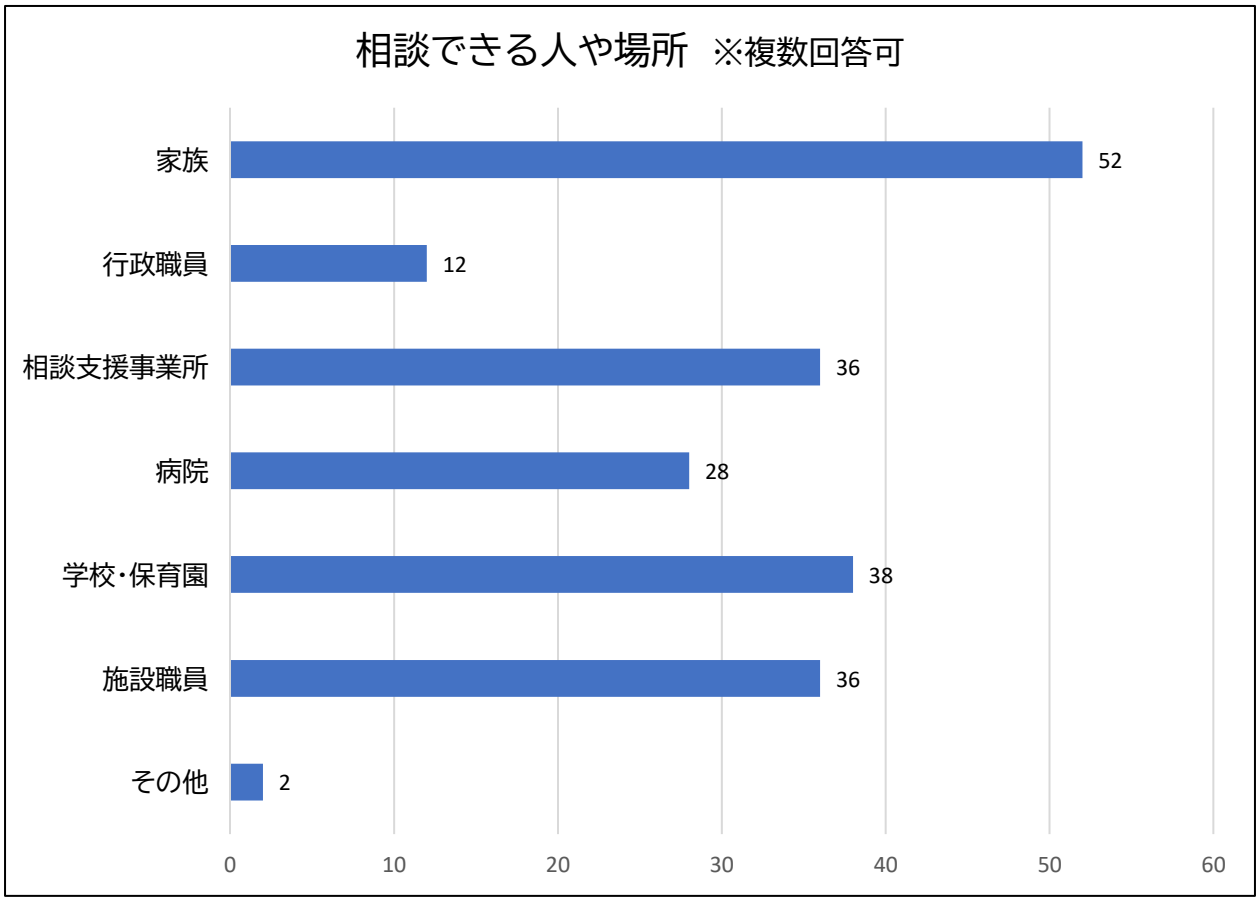
・このようなアンケートをしていただき、感謝している。この集計結果を、また私たち保護者に教えてもらえると嬉しい。同じ悩みを持つ人が自分だけなのでは？と思うことが多いので。
・何が心配に思うことかが分からない。

4.相談できる人や場所について（複数回答可）

「家族」が最も多く、次いで「学校・保育園」「施設職員」「相談支援事業所」の順に多くなっています。その他には「友人」が挙がっていました。

現在、ある程度相談はできていますが、記述のご意見・ご要望では、相談先が分からないというご意見もありました。育児や療育に関する相談は、内容が多岐にわたるため、専門的相談が適切にできるよう体制整備が必要とされています。

	家族	行政職員	相談支援事業所	病院	学校･保育園	施設職員	その他
人数(人)	52	12	36	28	38	36	2



5.お困りごとやご要望などがございましたら、自由にご記入ください。

ご意見・ご要望について（抜粋）に記載しております。

アンケート様式

令和5年度 総合支援学校児童・生徒や福祉サービス利用中の児とその家族の生活状況・ニーズに関する調査について(任意)

令和　　年　　月　　日

本人について教えてください

1．年齢

□0～1歳　□1歳～3歳　□3歳～6歳　□6歳～12歳

□12歳～15歳　□15歳～18歳　□18歳以上

2．障がいや病気について（複数回答可）

□身体　□知的　□精神　□発達　□診断はついていない
（～傾向があると言われた含む）

□その他（　　）

3.本人のことを教えてください（記述）

例）多動傾向があると言われた、自閉症と診断されている、脳性麻痺がある　etc…

4.各種手帳・通所受給者証・障害福祉サービス受給者証について（複数回答可）

□身体障害者手帳　＿＿＿＿級　（障がい内容:　　）

□療育手帳　□A　□B　（障がい内容:　　）

□精神障害者保健福祉手帳　＿＿＿＿級　（障がい内容:　　）

□通所受給者証を持っている
（児童発達、保育所等訪問、放デイ 等）

□障害福祉サービス受給者証を持っている
（居宅介護、短期入所、行動援護 等）

□手帳・受給者証どちらも持っていない

5.同居のご家族に全てチェックをしてください

□父　□母　□祖父　□祖母　□兄姉　□弟妹　□親戚　□その他（　　）

サービスの利用状況について教えてください

1．現在、利用しているサービスに全てチェックをしてください
合わせて、利用頻度をご記入ください　例）2日 / 週・月

□児童発達支援
（　日/ 週・月 ）

□保育所等訪問支援
（　日/ 週・月 ）

□放課後等デイサービス
（　日/ 週・月 ）

□相談支援事業所
（　日/ 週・月 ）

□ショートステイ
（　日/ 週・月 ）

□日中一時支援
（　日/ 週・月 ）

□訪問看護
（　日/ 週・月 ）

□訪問リハビリテーション
（　日/ 週・月 ）

□その他（　　）

□サービスは利用していない

ご意見・ご要望について

1．日常生活のなかでどのような困りごとがありますか（記述）

例）兄弟の行事の時預け先がない、利用できるサービスが遠方、移動手段がない　etc…

2．今後どのような支援があると良いと思いますか（記述）

例）休日の預け先、地域の見守り（周囲の理解を得るための普及啓発）　etc…

3. 今後心配に思っていることは何ですか（記述）

例）高校卒業後の進路、災害・緊急時の対応　etc…

4.相談できる人や場所はありますか（複数回答可）

□家族　□行政職員　□相談支援事業所　□病院

□学校・保育園　□施設職員　□その他（　　）

5.お困りごとやご要望などがございましたら、自由にご記入ください（記述）

例）利用している～のサービスの利用時間・頻度を増やしたい（　日/週・月　希望）etc…

調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。